

## 準備書面の書き方

準備書面の書き方を順次説明しますので、準備書面の用紙を見ながら読んでください。なお、準備書面への記載はペンかボールペンでお願いします。

### 1 について

事件の特定のため、**事件番号**（平成 年(ワ)第 号）、**原告及び被告の氏名**を書いてください。

### 2 について

作成日付、提出先となる**大阪地方裁判所第 民事部**、**原告・被告いずれかの** に√印を入れ、あなたの氏名を書き、押印してください。

### 3 について

相手方の準備書面に対する認否・反論を書く場合（記載例）

「レ 平成 年 月 日付け準備書面に対する認否・反論は次のとおりである。

- 1 第1項記載の事実は全て認める（否認する、知らない）。
- 2 第2項記載の事実中 の事実は否認する。 ではなく である。
- 3 第2項記載の事実中 の事実は知らない。 」

というように、相手方準備書面に書かれている事実のうち、認める部分、認めない（否認）部分、知らない（分からない）部分がどこかが分かるように書いてください。

### 4 について

私の主張を書く場合（記載例）

「レ 私の主張は次のとおりである。

- 1 について

については、 である。（乙第1号証） 」

などと、当該事件に関する、あなたの主張（言い分、言いたいこと）を書いてください。また、引用できる書証（書証を裁判所に提出するには、別途手続が必要です。）があれば、該当部分の文末に書証番号を括弧書きしてください。

準備書面の記載内容について、分からないことがあれば、弁護士（大阪弁護士会： 06-6364-1248）や法テラス大阪（ 050-3383-5425）等に相談してください。